

埼玉教育だより

第 7 号

発行日 2025/9/12

発行者 石川博 編集責任者 山田正美

発行元 330-0062 さいたま市浦和区
仲町 3-13-10 ヤギシタビル 4F

e-mail:yamadamasami015@gmail.com

定期総会 東松山で 10・17 (金) 開催

2025年の定期総会は東松山市の「比企教育会館」で行うことになりました。また当日は「(財) 生きがい支援協会」の協力を得て、専門の講師による「フレイルを予防してはつらつ人生」をテーマとした講演会も併せて実施する予定です。埼玉県のちょうど中央に位置する東松山市、多くの会員の参加をお願いします。なお、会場は駐車場が狭いため、なるべく公共交通機関を利用するか、自家用車ご利用の方は乗り合わせるなどご協力をお願いします。

日時 ; 10月17日 (金)

13:30~定期総会

15:30~講演会

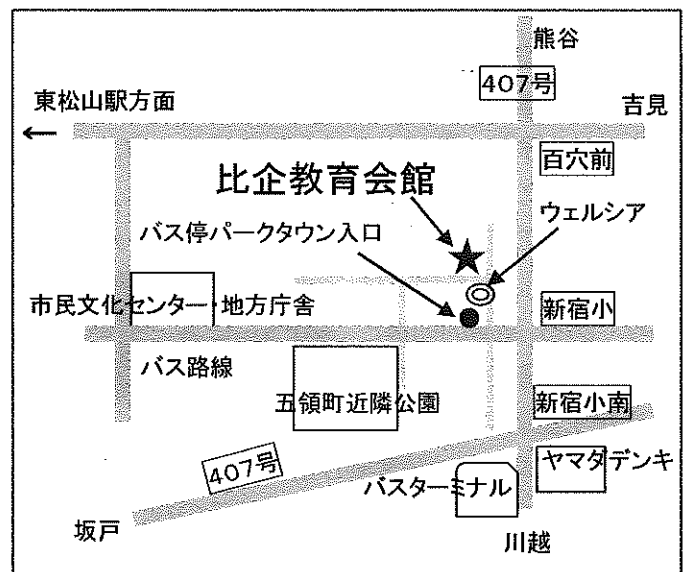
「フレイルを予防してはつらつ人生」

場所 ; 比企教育会館

東松山市六軒町 19-17 Tel ; 0493-22-0163

「東松山市民文化センター・地方庁舎」を目印

別添の定期総会議案書をご持参下さい



東武東上線東松山駅東口下車 バスは東口

4番乗り場「パークタウン五領行」で

「パークタウン入口」下車 (駅から7分)

(バス時間) 12:00/35/55/1:15/35/55/14:15

水岡俊一さん、参議院当選 ご協力ありがとうございました

7月20日(日)に、第27回参議院議員選挙が実施されました。日教組が推薦した「みずおか俊一」さん(全国比例区)が当選することができました。また、「勝部けんじ」さん(北海道選挙区)、「小島ともこ」さん(三重県選挙区)も見事当選しました。引き続き、平和・人権・環境・共生のとりくみを日政連とともにすすめます。「みなさんのおかげで『教育の議席』を守ること

ができました。当確に時間がかかり、大変ご心配をおかけしました。子どもたちの未来のため、これから次の6年間も党派や衆議院の仲間と力を合わせ、これからもがんばります。」

【水岡俊一さんのXより】





エマニュエル・トッド『西洋の敗北』

大澤真幸『西洋近代の罪』

西谷修『西洋と戦争』

進藤榮一「世襲政治が日本を没落させた」

山本幸司（北支部）

“脱亜入欧”を掲げ“臥薪嘗胆”して「国際世界」に遅れた帝国主義として参入した近代日本。明治維新から150余年、敗戦から80年を迎えた今、世界の現実とは二度の大戦を経て確立された「自由・人権・民主主義・法の支配」という「普遍的」価値・規範と実態との乖離は目を覆うばかりである。所与の前提としてきた「国際秩序」が揺らぎ民主主義や資本主義の枠組みに大きな地殻変動が起きている。

私たちは如何なる時代を生きているのか、そして日本はどういう立ち位置を取るべきなのか？世界史を系統的に学んだこともない私にはとても手に負えない課題であるが、これらを考える上で、示唆に富んだ三冊の書籍（既読の方も多いとは思いますが）と一つの論考を紹介し、「気づきの一端」を以下に記すこととしたい。

その書籍と論稿とは「西洋の敗北」（E・トッド著／文藝春秋）、「西洋近代の罪」（大澤真幸著／朝日新書）、「戦争と西洋」（西谷修著／筑摩書房）、「世襲政治が日本を没落させた」進藤榮一著（月刊日本8月号）である。

四人の識者が共通して指摘するのは、現下の「国際秩序」とは主として西洋・西欧文化、宗教、それを基礎とした経済力・軍勢力等によって形成されたものであること。すなわち1648年、30年戦争を経てヨーロッパはウエストファリア条約によって近代主権国家秩序を確立し、以降西洋諸国が経済力と軍勢力を背景として世界に版図を広げつつ、1884年～85年、

アフリカ人の参加していない「国際」会議＝ドイツ首相ビスマルクの提唱で、英・米・独・仏等列強14カ国による会議・ベルリン＝コンゴ会議でアフリカの分割が行われた。世界に「未分割地」は無くなり、この後植民地の再分割を巡る二度の世界戦争が行なわれ、今日に至る国際秩序が形成されてきたことは周知の事である。ところが、この国際秩序が機能不全に陥り、今、世界は人類史的転換期に直面している」とのことである。

パクス・アメリカーナは終わった。21世紀の世界経済の中心はアジアに移行しつつある。（GDPが真の経済・産業の実力を示す指標の不十分性を踏まえ）2019年EU・27国、米、加、豪のGDP総額約29.2兆ドルは、東側・アジア24カ国56.1兆ドルの半分である。2050年の名目GDPではグローバルサウス（印、東南アジア、中東、アフリカ、中南米）約30%、中国25%、米国25%欧州15%日本3%その差は歴然である。加えて世界人口は2050年約

100億人でグローバルサウス70億、欧米10億（いずれも三菱総研）日本の人口は

9500万。更に研究開発予算も同様である。

E・トッド氏は「アメリカのシステムは、ヨーロッパと同じ災い則ち大衆とエリート階級が共有する国民文化の消滅。WASP文化——白人、アングロサクソン、プロテスタントが段階的に内部崩壊していくことで「中心」も「プロジェクト」も失った。西洋に経済力をもたらした重要な要素だったプロテスタンティズムの死・消滅こそが、アメリカのエリート層の崩壊を説明する決定的かつ歴史的な現象だ。」と指摘する。

G7に代表される西側が国際世界を領導する能力、意欲を失っていることはパレスチナ問題にも明らかである。

「パレスチナを主権国家として承認しそのパレスチナ国家とイスラエルとが平和的に共存する」以外にパ

国際秩序の再編を読み解く

西洋の敗北

日本と世界に何が起きているのか

La Défaite de

l'Occident

Emmanuel TOUD

エマニュエル・トッド

大澤真幸訳

20数か国語に翻訳されたが
未だに英訳版はない

レスチナ問題の解決策がないことは世界の常識である。193の国連加盟国のうち、145カ国がパレスチナ国を承認している。問題は、「西側先進国」G7（日本を含む）が認めていないことである。それは「ガザ戦争、ここに、西洋近代の二つの罪が重なって現れている。二つの罪とは、植民地主義と（20世紀のナチズムの反ユダヤ主義において頂点に達した）人種主義である。どちらも、西洋という文化的なコンテクストに固有の罪である。」

なぜアメリカはパレスチナでジェノサイドを強行

するイスラエルを支持し続けるのか、それはアメリカという国がネイティブアメリカンの「絶滅」の上に建国されたアメリカのアイデンティティーに根深く起因していることも知らされた。

核抑止論＝相互確証破壊戦略論はフィクションであるとの広島県知事の炯眼。自国の加害性を肝に銘じ戦争被爆国としての人類史的役割を受け止め、今まさに「脱亜入欧」「対米従属」の150年を支えた「世界」に対する「日本の常識」を問い直し、「脱欧入亜」・「連欧連亜」へ大転換すべき時であると思う。

7・7 記念集会

『反戦は国境を超えて～南京大虐殺をめぐって』

秋山博史（高校支部）

1937年7月7日は、日中全面戦争に突入した盧溝橋事件（7・7事変）が起きた日である。この日にちなみ4団体（日中友好8・15の会、関東日中平和友好会、不戦兵士を語り継ぐ会、撫順の奇蹟を受け継ぐ会）が共催で「7・7記念集会」を開催してきました。後援は中国大使館にお願いし、7月7日に浦和パルコで開催しました。

4団体代表の挨拶、来賓の中国大使館 康曉雷参事官の挨拶のあと、元朝日新聞編集委員でジャーナリストの上丸洋一さんが「反戦は国境を超えるー南京大虐殺をめぐって」と題して講演をしました。

当時の首都だった南京は広さが山手線の内側ぐらいで、城壁で囲まれている。この中に国際安全区があり、およそ台東区の広さで、20～25万人がいた。そこに南京安全区国際委員会という組織があり、職員15名で中国人難民の保護、救援、事件の記録・調査、食糧支援に取り組んでいた。安全区というが日本兵が入ってくれば安全ではなかった。

上丸さんは当時安全区で活動していた職員の日記を紹介した。日記には日本兵による暴行、暴力、略奪の行為の悲惨な状況が記録されていた。上丸さんも読んでいて惨憺たるもので、到底読むのが辛く長い時間読めなかったという。日本人であることが嫌になるような記録であるとも話しました。

一方歴史修正主義者は、南京大虐殺は国際委員会（在留外国人）の作り話であり、中国のプロパガンダだと、



講演する上丸洋一氏

批判する。上丸さんはその批判も日記や書簡をもとに間違いであり、根拠のないものであると指摘しました

また、かれらは当時新聞が報道していなかったから南京大虐殺はなかったというが、言論統制があったことを知っていて批判するのが、かれらの常套手段だと指摘。上丸氏が当時の新聞を地方紙も含め80ぐらい調べると、斬首する直前の捕虜の様子とか、斬首する様子まで書いてある新聞もあったことがわかった。新聞が報道していなかったというのは間違いであると指摘しました。

講演後、康参事官が参加者に次のように語りかけた。「南京大虐殺の生存者は何人だと思いますか。現在26名しかいません。先日も2名の方が亡くなりました。今回の講演を聞いて、歴史を守る。歴史を語る。歴史の真相を伝えることが、いかに重要であるか感じました」。参加者一同、同じ思いを強くしました。

集会には大学生が数名参加しました。若い世代に「7・7記念集会」の意味を知ってもらい広めてもらえれば嬉しい限りです。

定年マイウェイ 卓球・Google マップ・色鉛筆画

このコーナーでは定年退職後に、ユニークな活動
を続ける「マイウェイな人々」を紹介します。

水井克衛（高校支部）

定年後はやりたいことを中心に

私が定年退職したのは、2020年3月でした。世の中がちょうどコロナ禍に突入した時期で、退職を祝う会も歓送迎会・離任式も中止となり少し寂しい思いを感じながらの退職でした。教員時代は「しなければならないこと」に日々追われながら過ごした感が強く、定年退職後は「やりたいこと」を中心に据えて生活しようと考えていました

退職時の体重は98kgで、健康な体を取り戻そうと、マンションの廊下をウォーキングするところから始めて、市内のジョギング、ジム通い、卓球練習と頑張っ、現在は84kgです。

卓球修行に燃えて上達も実感

2年程前から最も力を入れているのは卓球で、約2時



坂戸市民体育祭優勝 目標は全日本
選手権大会マスターズ出場

間単位の練習を週に10回程行っています。卓球三昧やシェークハンズクラブやT.T.C 平屋や卓球オギムラスクール研究科などに通い、プロコーチの個人レッスンも受講しています。

結果が徐々に始まって、マシン練習やサーブ練習のために毎週通っている北坂戸卓球センターのコーチたちと組んで5月3日に出場した、第50回坂戸市民体育祭卓球大会男子団体の部で優勝することができました。（写真） また、7月6日に開催された第39回比企郡卓球選手権大会男子シニアクラス（65歳以上）の部で準優勝することができました。何年かかるかわかりませんが、大きな目標として、埼玉県予選を通過して全日本卓球選手権大会マスターズ（年代別）の部へ出場することを目指しています。

Google マップへのクチコミ投稿者として

ところで、3年程前からGoogle マップへクチコミや写真を週に1回定期的に投稿するようになりました。東京方面へ卓球のレッスンを受けに行くのに、時間的余裕を持って行き、新しいカフェを巡って、そのお店について写真を添えたクチコミを書くようになったからです。それ以前を含めてこれまでに、写真を1682枚投稿し、閲覧された回数は4600万回以上になりました。クチコミは330件投稿し、閲覧された回数は246万回以上になりました。

一般的にクチコミというと、数行の短いものをイメージするかもしれませんが、私のクチコミは800～900字ほどの長文で、最寄り駅からの行き方、当日飲食したメニュー、可能な支払い方法、座席数、内装や照明、BGM、トイレ、そのお店の特長を網羅した、カフェなどのお店選びに役立つものです。

英語教員を37年間やってきて英語を日本語に、日本語を英語に翻訳するのが仕事でしたから、私の書く日本語は自然と外国語に翻訳しやすいものになるようです。Google マップ上で、クチコミ投稿者としての私をフォローするフォロワー数は現在1088人になっていますが、そのうちの7割ほどが外国人の方々

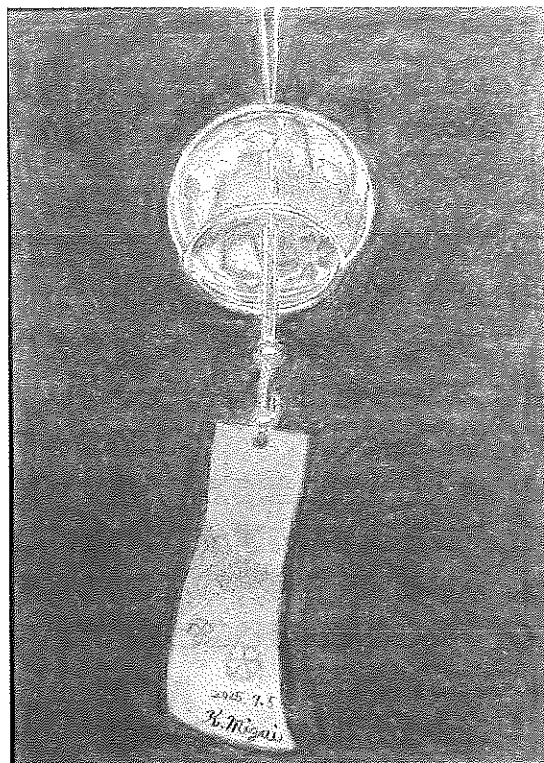
になっています。彼らは、日本語で書かれた私のクチコミがGoogle翻訳によって自動的に母国語に翻訳されたものを読んでいるのです。

改めて色鉛筆画を習い始める

さて、1年半程前から月に1回2時間の色鉛筆画教室に通い始めました。池袋コミュニティカレッジ内の一講座で、5色の色鉛筆で全ての色を作り作品を描く林亮太先生が講師を務める教室です。直近の教室で7月5日に私が描いた「ガラスの風鈴」の写真を添えます。

好きなことを楽しみながらやって、自身の上達や人の役に立っていることを実感できるのは嬉しいことです。

お近くの知人、友人に「マイウェイな人々」はいらっしゃいませんか？ぜひともこの欄で紹介したいと考えています。また展覧会、演奏会、発表会など日頃の活動成果発表の場を告知する場としても活用したいと考えています。どうぞ情報をお寄せください！



水井さんの色鉛筆画作品。カラーでお伝え出来ないのが残念です

告知板

現役時代から本格的な演劇活動をしている会員の八田部鉄さん（高校支部）の公演をお知らせします。演目は泉鏡花原作の『天守物語』、能舞台で音楽劇として上演します。八田部さんは「小田原修理」と「舌長姥」と二役を演じられるそうです。場所、日時などは下記を参照ください。八田部さんは『退教だより』次回で、「定年マイウェイ」のコーナーで登場予定です。

『天守物語』

○日時 9月26日（金）

18：30

○会場 鍬仙会能楽研究所

東京都港区南青山

4-21-29

03-3401-2285

交通「表参道駅」A4出口

○入場料（全席自由）

前売券 4500 円

当日券 5000 円

全席座椅子付き

○申し込み・問い合わせ

アトリエ花習（鈴木）

090-9676-3798

telierkashu.com

主催 一般社団法人 アトリエ花習



役の衣装で舞台に立つ八田部鉄さん

連載

世界食い倒れ紀行(6) 全裸気絶事件

＋呑んだくれ

赤上光司(高校支部)

歩けない 喋れない 食べられない

スプーンでお粥をすくう。すくえた。今度はスプーンを口に運ぶ。できない。お粥は、顎に当たった。お粥は何回やっても、口には入らず顎に当たる。介護士が見かねて、スプーンを口に運んでくれた。これが、さいたま市立病院での最初の食事。私は、歩くことも、喋ることも、できなくなっていた。

「死んでもおかしくない状態」

その朝、私は素っ裸で、玄関のドアから首を出して、気絶していた。近所の人々が首を発見、すぐに救急車を呼んでくれた。救急車では、私の体温は30度、体重は38キロ、脱水症状で「死んでもおかしくない状態（医師の言葉）」だった。夜中に何故、裸にならなくてはならなかったのか、全く記憶になく説明もできない。風呂に入ったとも思えず、頭がおかしくなったとしか言いようがない。体温30度でよく生きていた。

病院食の日々

意識が戻った時、私はさいたま市立病院にいた。その食事、味は薄く、いわゆる病院食。私は食事を残した。病院が東和病院に変わり、事態は一変、味も濃く、何より美味しい。最初の日の面接、「主食はご飯？お粥？」と聞かれ「お粥がいいです」とすると「今日はハヤシライスですよ」と言われ、私は「今日だけご飯にしてください」と言った。東和病院で最初に食べたのは、

洋食店並みのハヤシライス。私は必死で食べ、あっという間に完食した。

それから毎日の病院生活は「食事を待つ時間」になった。食事まであと3時間、2時間、1時間、あと30分になると、何も手につかない。食事が終わるとすぐ次の食事について考え始める。料理は肉か魚の主膳、漬物などの小鉢、後はお粥とお椀だけの質素なものだが、どのおかずも、とてもお粥によくあった。ああっ、美味しい。

ある日のメニューはカレーライスだった。「病院でカレーライスが食べられるなんて」。福神漬けも美味しい。カレーライスは私を幸せにした。別の日には麻婆豆腐の時もあった。私は同じよ

ビールを忘れ、病院で食事を待つ日々

うに興奮し、満足する。病院では、1日が無限に長く、食事の他に興味の湧くことはなかった。

愕然！酒がなくても平気とは不思議なのは、酒に関心が沸かなかったことだ。素っ裸気絶事件前、私は病院と刑務所には行きたくない、と言っていた。酒がないからだ。退院して家で久しぶりに飲むビールは、どんなにうまいかと思ったが、大したことなかった。あのビール人間がショックで大変身している。もうビールには戻れないのだろうか。恐るべし、素っ裸気絶事件。

第77回 全国人権・同和教育研究大会

来年11月 埼玉県で開催

全国人権・同和教育研究大会は西日本を中心に引き継がれ、歴史を刻んできましたが、来年11月の第77回大会が埼玉で行われる運びとなりました。首都圏での開催は1985年の東京大会以来40年ぶりとなります。人権教育、同和教育の理解と必要性をさらに推し進め、すべての人の尊厳と平等を実現する社会となることを願います。

埼玉退教としても、積極的に協力していきたいと考えています。

大会の概要

▼日程:2026年11月28日(土)29日(日)

1日目⇒全体会・分科会(9:00~17:00)

2日目⇒分科会(9:15~13:00)

▼場所:全体会場 さいたま市文化センター
分科会は未定

▼集会規模:7000人
(県内3000、県外4000)

▼参加費:5000円

102年目の関東大震災

「姜大興さんの集い」

実行委員会事務局長

小川満(高校支部)

2年前、関東大震災100周年を機に、「埼玉・コリア21」(代表は江藤善章さん・元大宮北高)と「日朝協会」(会長は元埼高教委員長関原正裕さん)が中心になって、「姜大興(カンデフン)さんの想いを刻み未来に生かす集い実行委員会」を結成しました。

さいたま市見沼区染谷の常泉寺には「朝鮮人姜大興墓」と刻まれた墓石があります。関東大震災で虐殺された数千人の朝鮮人で名前が刻まれた墓石は珍しく、しかも10年前に遺族も見つかり、何とか遺族の来日を実現したいと願っているところです。

今年も9月4日の命日に追悼会を行い、100名ほどが参加されました。最近の社会風潮として、排外主義が跋扈し始めており、関東大震災の朝鮮人・中国人虐殺は、100年前の単なる過去ではなく、現在につながっている問題だと思っています。



常泉寺本堂での朗読劇



墓前での常泉寺副住職による読経

囲碁大会開催のお知らせ

恒例の埼玉退教囲碁大会（沖松杯）を下記の要領で開催します。皆様さま、ぜひご参加いただきたくお知らせいたします。

▲期日：10月10日（金）

▲開催時間：午前10時～午後4時

▲場所：熊谷市中央公民館（市民ホール）2階（2-3の部屋）

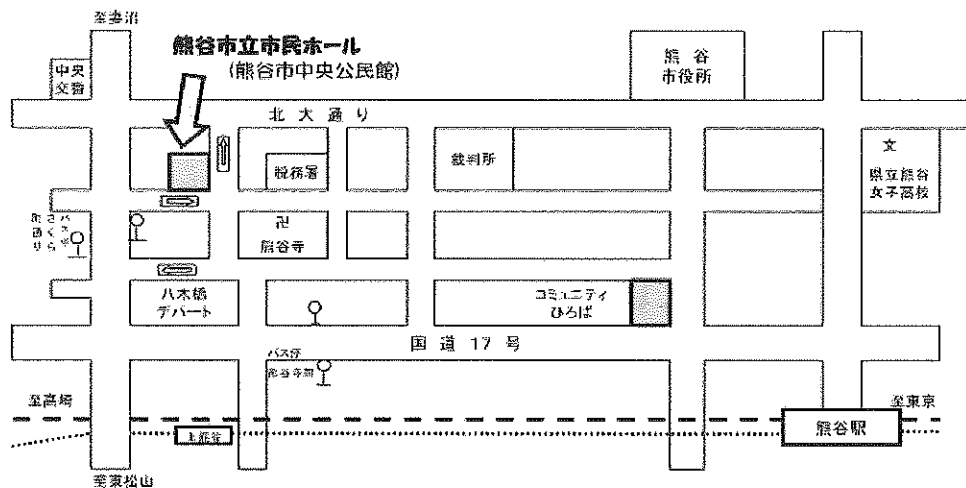
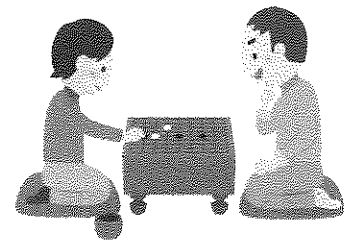
▲参加費無料 豪華昼食付、交通費支給

▲連絡先：幹事・秋山 048(533)7232

▲参加申し込み；昼食手配の都合上、参加申し込みは幹事まで（9月28日まで）

対局はすくなくとも午前中2局、午後2～3局を行い、Aクラス（2段以上）Bクラス（初段以下）それぞれ優勝、準優勝を表彰して賞品を贈呈します。

これまで埼玉退教の囲碁大会に参加されている方は強い人でも自称4段が最高で、初段以下、初心者も何人も参加して囲碁を楽しんでいますので、お気軽にご参加下さい。



今回の参議院選挙で参政党が議席を伸ばしたことで大きな話題となったが、一方で政治団体「チームみらい」が一議席を獲得したことにもっと注目してもいいのではないだろうか▲当選した代表の安野貴博氏は34歳、IT企業経営者、AIエンジニア、SF作家として政治にコミットしようとしている。YouTubeでの発信が多いが、当選後、あるネット番組でこんなことを言っていた。「立候補するにあたって、当選したければ敵をつくれ、とアドバイスしてくる人が多かった。敵を攻撃することで注目をひき、票を稼ぐ、ということでしょう。で



もそれは自分達はやらなかった。分断を煽るのではなくテクノロジーの力で対話を成立させて民主主義を成熟させるのが私達の目的。結果、分断を煽らなくても私達は議席を得た」▲今、民主主義が危機的な状況にある。分断を煽るポピュリズムの手法が大手をふるっている。そうした中で安野氏の存在は異彩を放つ▲私達は歴史の中で民主主義が自殺する姿を何度も目撃した。大正デモクラシー、ワイマール共和国、そしてトランプのアメリカも例外ではない▲民主主義を守るためのテクノロジーは実現するか。見守っていききたい（Y）